



# 記念館だより

2025年2月号

## 「ハリネズミの願い」

増淵 順

先日、本屋さんを覗いていたところ「ハリネズミの願い」（トミー・テレヘン著 新潮社）という本に出会いました。この物語は、主人公のハリネズミが、友だちを家に招待しようとするのですが、自分の中で「みんなが嫌がったらどうしよう」等と考え、なかなか声を掛けることができません。少し時間が経った後に、やはりと思いを掛けようとするのですが……また別の理由を勝手に想像し、止めてしまいます。最終的には、ハリネズミ自身の抱える「不安」を乗り越えた時に、友だちの方から声が掛かるというストーリーです。

この話の中でのポイントは、「主人公が自分の背中に『ハリ』があることにコンプレックスを感じている」ということにあると思います。その事が自身を弱気にし、声を掛けられない原因の一つであるように感じました。また、上手く自分のことが認められていないからこそ、他人の事を認めることができなかつたのではないのでしょうか。実際に物語の中で上記のように、声をかけられない理由として、みんながハリネズミの家に来た時のことを想像し、それぞれの勝手な振る舞いに嫌気が差してしまうというシーンがあります。これは、まさに、自分と友だちとの「違い」について受け入れることができずに悩み、不安

を抱えていることを表しているのではないかと思います。物語の終盤では、その不安が、自分勝手に暴力的な「バケモノ」と呼ばれる得体のしれないものとして、ハリネズミの前に現れます。そして「オマエにいいこと(友だちとの関係が上手くいっていない理由)を教えてやろうか」と迫ります。しかし、ここで主人公は初めて自分の気持ちをはっきりと言います。「いいえ、けっこうです」と。恐らく、この瞬間に、それまでの不安を乗り越え、自分自身のことを認めることができたのではないかと思います。そして、次のシーンでは、リスがハリネズミの家を訪れます。「なぜ来てくれたの」というハリネズミの問いに対し「キミが喜ぶと思って」とリスは答えています。

私はこの「キミが喜ぶと思って」というセリフがとても大きな意味を持っているように感じました。「相手のことを思う」という言葉にも置き換えることができ、学童クラブや児童館で大切にしているメッセージでもあります。「言うが易し」で実際に行動していくのは本当に難しいものですが、その根底にある「自分を認める」ことも合わせ、改めてこれからの記念館の歩みのなかで大切にしながら、こどもたちと一緒に考えていきたいと思います。

本所賀川記念館児童クラブ（児童厚生施設） 2025年2月1日（金）発行

〒130-0005 東京都墨田区東駒形 4-6-2 一般財団法人本所賀川記念館 TEL03-3622-7811

## 学童クラブ

2025年が始まって早くも1か月が過ぎました。日を重ねるごとに寒くなり、子どもたちは「こんなに寒いなら雪が降るかも！」と期待しています。毎日がにぎやかな記念館学童クラブは1年生から6年生までが在籍しています。同学年のお友だち以外にも上級生からボールを強く投げるコツや将棋がうまくなるコツなどを教えてもらっている姿や一緒に対決することなど、日々の育成の中で異年齢交流をしています。あと2か月後にはそれぞれ学年が上がり、新しい仲間を迎えます。学童のルールや遊びの中での配慮を振り返りながら、残りの2か月も楽しい思い出を増やしていきます。(斎藤)

## 記念館トピック

### 【賀川研究会】

「賀川豊彦の戦時下における侵略謝罪の意義」米沢和一郎 著  
『賀川豊彦研究』第31号  
2025年2月13日(木)  
19:00~20:00

農村留学に  
行ってきました♪

## コスモス食堂

からだ あたた  
☆体の温まるうどんと

チョコスイーツ!

こんかい くざい みそ つか ちがう  
今回は真材に味噌とサバを使う一味違う

あたた つか  
温かいうどんを作ります♪

バレンタインデーも近いのでみんなでチョコを使ったデザートも挑戦します!

日にち: 2025年2月15日(土)

時間: 午前10時~午後1時(予定)

場所: 本所賀川記念館 5階 クラブ室  
(墨田区東駒形4-6-2)

対象: 小学生以上(大人の方も参加OK★)

参加費: 350円

定員: 20名(事前申し込み制)

※2月10日(月)締め切り

申込場所: 各学童クラブ育成時間中

## 歳末たすけあい運動

今年度の寄付金額は5,959円でした。

ご協力ありがとうございます。



## ピアノ教室

毎週月曜日

講師: 土屋 紘枝先生

保育園から小学校高学年のお友だちまで、それぞれ目標を設けてピアノの練習を楽しんでいます♪